

MIDORI INFORMATION



9
2026
SINCE C. 2013 ~

TOPICS

巻頭言

熊本県土地改良事業団体連合会
事業部長

久保 洋司

「みどり通信」は、熊本県農林振興局
や市区町村、水土里ネットなどの職員
の皆さんに、農業・農村に関する様々
な情報をお届けするものです。

INFORMATION

- ☒ 令和8年熊本地震に対する支援
- ☒ 令和8年熊本地震に係る災害対策室設置式及び
団結式
- ☐ 本会5DAYSインターンシップの開催
- ☐ 改正労災保険制度について
- ☐ 第10回インフラメンテナンス大賞の応募開始

EVENT

- ☐ 写真コンテストの募集案内
- ☐ GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博
覧会）の開催

県からの情報発信

- ☒ 県内各地の情報をピックアップ！

MAGAZINE

- ☐ 「進藤金日子メールマガジン」VOL.106,107



2026.9.30 No.145



熊本県土地改良事業団体連合会
水土里ネット熊本
MIDORINET KUMAMOTO



熊本県土地改良事業団体連合会

事業部長 久保 洋司

被災された農家の皆様が一日も早く営農を再開できるよう、現場のニーズに即した査定・設計業務を急ピッチで進めております。

令和8年7月28日16時27分頃、本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生いたしました。宇城市や八代郡氷川町で最大震度7を観測したほか、熊本市、八代市、宇土市、美里町、益城町などで震度6強の激しい揺れを記録し、本県としては平成28年熊本地震以来となる未曾有の爪痕を残しました。死者38名、負傷者408名という痛ましい人的被害をはじめ、7万1千棟を超える住家被害、交通インフラの寸断、最大約10万8千戸におよぶ断水など、県民生活や地域社会全体が甚大な打撃を受けました。

犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私自身も発災直後、氷川町に隣接する宇城市の自宅に向かい、建物倒壊による道路の寸断や段差に阻まれながら、5時間かけて帰宅いたしました。窓ガラスは割れ、壁や梁には無数のひびが入り、室内は物が散乱して足の踏み場もない状況でした。構造上の安全を確認した後にわずかな寝床を確保して不安な夜を明かしましたが、倒壊したお墓で骨壺が割れる惨状を目の当たりにし、途方に暮れた記憶は今なお鮮明に残っております。また、自宅周辺の特産である吉野梨も収穫直前であった果実がほぼ全て落果し、全滅に近い極めて深刻な被害を受けました。

この激震は本県の基幹産業である農林水産業をも直撃し、農林水産業関連の被害総額は約1,613.5億円にのぼっております。そのうち、農地や農業用施設（用排水路、頭首工、ため池、揚水機等）の被害額は約960億円（15,048箇所）と、過去最多の被害規模となりました。とりわけ震度7を観測した宇城市・氷川町および震度6強の八代市の被害額が全体の約9割を占めております。

被災した本会職員もいる中、この未曾有の危機に対して猛暑の中で現場点検や被災調査に奔走し、被災地域の19土地改良区への緊急支援物資の配布や、市町村へ延べ170名を超える技術職員派遣を行うなど、初動対応に全力を尽くしてまいりました。

さらに、九州各県の土地改良事業団体連合会からの支援のもと、9月7日には「災害対策室」を設置いたしました。10月中旬から本格化する災害査定に向け、全国の土地改良事業団体連合会の広域ネットワークを駆使し、12月までに全国から延べ695人の応援職員をお迎えする予定であり、万全の査定・復旧支援体制を構築しております。被災された農家の皆様が一日も早く営農を再開できるよう、現場のニーズに即した査定・設計業務を急ピッチで進めております。

私ども「水土里ネット」に課された最優先の使命は、これまで先人が守り育てきた生産基盤を引き継ぎ、「熊本の農業を守る」という基本理念のもと、一日も早い農地・農業用施設の安全確保と確実な復旧を成し遂げることです。被災地の声に深く耳を傾け、農業基盤の復旧を図り、農家の皆様が安心して営農を継続できる環境を速やかに整えてまいります。この難局を乗り切るため、「所属や地域の垣根を超え、組織一丸となって立ち向かう」姿勢で、会員市町村、土地改良区、行政機関、関係団体の皆様と固く連携してまいります。

被災地の支援と早期復旧に全力を注ぎ、豊かな農地と水環境を次世代へ引き継ぐため、皆様とともに未来への歩みを力強く進めてまいりましょう。

令和8年(2026年)9月25日時点

7.29 9時～

県・水土里ネット熊本 初動対応会議

- ・対象区域については、宇城、上益城、県南地域
- ・被害の全容把握（被災状況写真・動画空撮を想定）のため、県職員＋県土連＋土地改良区で初動にあたる

7.29 13時～

水土里ネット熊本 第一回災害対策本部会議

- ・初動対応、支援体制等について共有し、災害対策本部を設置

7.29 13時～

県南、宇城、上益城地域にて被災調査実施

7.30～8.5

国・県と共に八代市・氷川町エリアの被災調査実施

7.30～8.5

八代平野北部土地改良区支援（被災調査）

7.31

国・県・県土連と共に防重ため池被災に関する技術的な助言

- ・指導に関する説明キャラバンの実施
- ・熊本市、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町



熊本市東区秋津町▲



熊本市南区富合町▲

8.1～8.2

国・県・市町村・県土連と共に被害が確認された防重ため池に対する再調査と応急対応（ブルーシート敷設、低水措置）

- ・宇城市

8.3～8.5

防重ため池の緊急点検結果に基づく詳細調査の実施

- ・熊本市、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町



宇城市猫迫ため池▲

8.3～8.14

排水機場緊急点検（宇城市）

- ・長崎排水機場 砂川排水機場、南小川排水機場、片島排水機場、郡浦排水機場



八代郡氷川町▲

7.29～8.21

会員からの被災確認等実施

- ・県央：熊本市、秋津飯野土改区、熊本平野南部土改区
- ・上益城：御船町、嘉島町、益城町、益城町土改区
- ・宇城：宇土市
- ・八代：八代市、八代平野北部土改区、八の字土改区
- ・ため池：益城町、上天草市、宇城市



上益城郡嘉島町▲

8.31

**大分県建設業協会宇佐支部から八代市へ義援金贈呈
大分県土地改良事業団体連合会から本会へ見舞金贈呈**

9.7

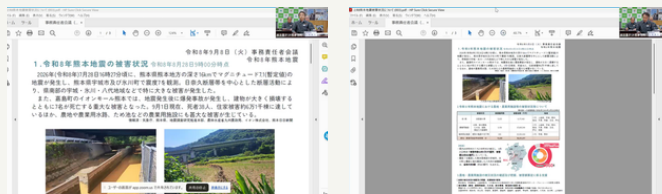
災害支援派遣職員の到着

9.8

土地改良事業団体連合会九州協議会令和8年度 専務・常務理事会議

令和8年熊本地震の被害状況の報告と全国への災害派遣の呼びかけ

9.10

令和8年度熊本地震に係る
災害対策室設置式及び団結式

9.28

**石川県土連からの支援物資の寄付・
古西常務理事と新保事業部長の来訪**

令和8年度熊本地震に係る災害対策室設置式及び団結式



令和8年9月10日(木)に 本会3階会議室で令和8年度熊本地震に係る災害対策室設置式及び団結式が行われました。

災害対策室には9月25日時点で、約16名を4班体制に分けて配置して対策にあたっています。

永田常務より、発災直後から暑い中、被害調査・点検調査・支援物資搬送に従事した職員、および自身も被害を受けながら対応に参加した職員に対して深く謝意を示しました。

被害状況が固まり、今後は災害復旧・復興の制度上の災害査定へ進んでいきます。その中で、九州各県の専務・常務会議においても全県から絶大な支援の意向が示されており、他県への業務委託も含め九州全体で取り組む方針であることを述べられました。

また、土地改良事業のプロとして、会員・県・市町村・土地改良区からの信頼を得られる対応を目指すこと、現場作業における安全・健康管理に努めることを強く求め、被災地の1日も早い復旧復興に向け全員で力を合わせるよう呼びかけました。



各県の応援状況と感謝

令和8年(2026年)9月25日時点

令和8年熊本地震の発生を受け、全国の皆様に災害派遣の要請をさせていただいてから、約1か月が経過いたしました。

この間、全国各地から多大なるご支援と温かいお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。

また、本会からの災害派遣要請に際し、多くの皆様にご理解、ご協力をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。現在、九州を除く全国12県と熊本を除く九州・沖縄全県から災害派遣要請に応じていただいております。

実際に派遣に応じていただいている皆様はもとより、それぞれの地域の状況や業務のご都合がある中、本県の被災地支援についてご検討、ご配慮をいただいております皆様にも、深く感謝申し上げます。

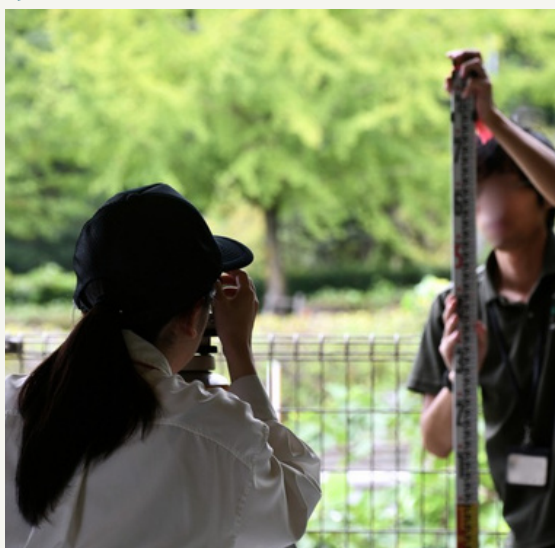
一方、全国各地においては、台風や大雨等による被害も発生しております。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

本県におきましても、被災地の復旧・復興に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



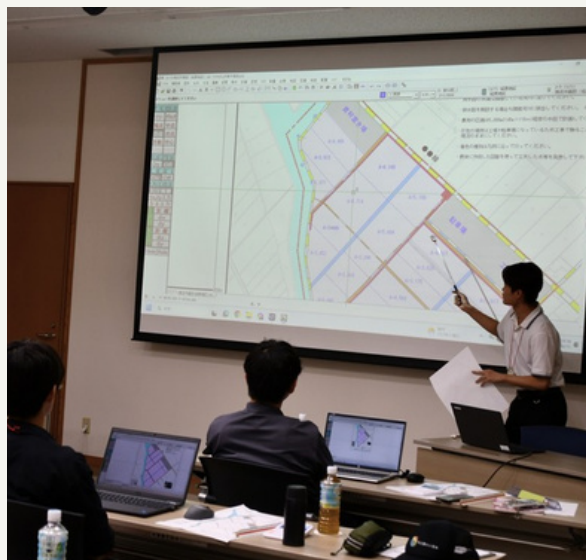
令和8年9月14日(月)から18日(金)にかけて、本会において「5daysインターンシップ」を実施しました。

今回のプログラムでは、業務内容の説明に加え、**実際の現場体験**も取り入れることで、学生の皆さんにより深く本会の業務を理解していただく機会となりました。



今回は「調査・測量・設計部門」と「施設・保安全管理部門」の2部門を体験していただきました。

参加した学生からは、
「設計の難しさや楽しさを学んだ」
「普段では経験することのできない体験で、新しい視点を獲得できた」
といった声が寄せられ、充実した学びの時間となった様子がうかがえました。



令和8年7月に労災保険法が一部改正され、**農業分野での暫定任意適用事業者に係る特例要件が廃止**されることとなりました。このため、**一人でも雇用するすべての農業経営体**については、**労災保険の加入が義務化**されることとなり、遅くとも**令和13（2031）年7月まで**に加入が必要になります。

【農業の労災保険義務化のポイント】

- ・ 労災保険は、労働者の業務中や通勤中のケガ・病気を補償する制度。
- ・ 雇用形態によらず、**常雇用・臨時雇用、パート・アルバイトを一人でも雇用する場合、原則加入する必要**がある。
- ・ これまで、農業分野では「暫定任意適用事業者」として、主に個人経営で常時5人未満の労働者を雇用する農家（※法人経営は強制適用）は、労災保険の適用が暫定的に任意とされてきた。

持続可能な農業は人から。

安全対策と労災保険で、農業を未来へつなぐ

小林 涼子
専業 株式会社AORIの代表取締役

重要なお知らせ
小規模な農業経営体も**労災保険の加入が義務化**されます
※遅くとも2031年7月までに加入が必要

農業労災・安全対策
守る・備える・つなぐ。
一般社団法人 全国農業会議所

安全対策と労災保険で、働く人と農業経営を守る

農業の死亡事故率は、全産業平均と比較して約13倍。農業に、「絶対に事故は起きない」はありません。事故やケガは、働く人だけでなく、経営にも大きな影響を及ぼします。だからこそ、日頃の「安全対策」と、万が一に備える「労災保険」が大切です。制度の見直しにより、遅くとも2031年7月までに、**労働者を1人でも雇う農業経営体は労災保険への加入が必要になります。義務化を持たず、早めに備えましょう。**

→ 国の制度「労災保険」はどうして必要なの？

「万が一」の事故から、働く人と家族を守るため

治療	休業	障害	遺族
治療に必要な費用	働けない期間の補償	障害が残った場合の補償	亡くなった場合の遺族への補償

事故による補償負担に備え、農業経営を守るため
事業主として災害補償責任を果たすため
従業員が安心して働く環境をつくるため

仕事や通勤中のケガ・病気などに対して、必要な保険給付が行われ、働く人とその家族の生活を支える制度です。

※未加入の場合、仕事上のケガなどは、事業主が自ら補償する必要があります。

労災保険への加入は3STEP

STEP.1	STEP.2	STEP.3
人を雇っていたら確認 加入対象がチェック	加入手続き 必要な書類を作成・提出	保険料を納付 自営・年間賃金総額の1.3%（2024年4月4日） （例）年間賃金300万円なら→年間の3,900円

加入後の手続きは、基本的に年1回！

迷ったり困ったりしたら相談を！
公的な相談・手続きの窓口 → 労働基準監督署
加入手続きのサポート → 労働保険事務組合
労災保険・労務の専門家 → 社会保険労務士

経営者本人が加入できる「特別加入制度」もあります！
労災保険制度や手続きの流れなど、詳しい内容は、「農業労災・安全対策ポータルサイト」をチェック！
<https://aguri-rousai.jp/>

熊本地域担い手育成総合支援協議会（熊本県農業会議所）
問い合わせ先 TEL 096-384-3333 メール: 43ninaite@nca.or.jp

【農業労災・安全対策ポータルサイトについて】

農業者への同保険制度や農作業安全対策に関する情報発信を強化するため、全国段階で普及推進を行う全国農業会議所が「農業労災・安全対策ポータルサイト」を開設しました。

本サイトは、農業者や農業支援機関が労災保険制度や農作業安全対策に関する情報を一元的に掲載したポータルサイトです。

労災保険制度の概要や加入手続、農作業安全対策、動画コンテンツ、労災保険の必要性や加入メリットを伝える事例、各種資料などを分かりやすく掲載し、必要な情報へ容易にアクセスできるサイトとなっています。

令和8年9月28日(月)に、ホテル熊本テルサにて令和8年度「雇用体制強化セミナー」が開催されます。

今回のセミナーでは労災保険法の改正概要を含めた説明を行うため、興味がある方はぜひご参加ください。

令和
8年度

「雇用体制強化セミナー」

これからの農業経営に求められる組織とは
カスハラ対策・ストレスチェック義務化・労災保険強制適用など
法改正に向けた体制整備と人材育成

参加費：無料 会場定員：50人

日時：
場所：

令和8年 9月28日(月) 13:30～16:00

①「ホテル熊本テルサ 1F テルサルーム」

(熊本市中央区水前寺公園28-51)

②オンライン (Zoom)

対 象：県内農業経営者、関係機関職員 等

農業を巡る環境は、長引く燃油・生産資材価格の高騰、中東情勢の緊迫化に伴う生産資材不足や農作物の高温障害、加えて令和8年熊本地震の発生等、より厳しさと深刻さを増している。

このような中、労災保険法等の一部改正に伴い、農業経営者は新たな制度に対応するための雇用環境の整備にも取り組んでいかなければならない。

本セミナーでは、県内農業者の雇用環境改善を目的に、「熊本県農業経営・就農支援センター」専門家(社会保険労務士)が「成長・発展する組織づくり」をテーマに解説する。

講演

テーマ

「これからの農業経営に求められる組織とは」
～ カスハラ対策義務化・ストレスチェック義務化・労災保険強制適用など法改正に向けた体制整備と人材育成 ～

講師：社会保険労務士 西原 哲朗 氏

くまもと社会保険労務士事務所

(株)コンサルタントブレイン代表取締役社長



(講師プロフィール)

- ・熊本県農業経営・就農支援センター専門家
- ・熊本商工会議所 専門エキスパート登録
- ・熊本産業保健総合支援センター 産業保健相談員
- ・中小企業庁 熊本県よろず支援拠点 コーディネーター
- ・日本政策金融公庫 令和8年度課題解決サポート事業受託者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士(個人資産形成)
- ・社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士、第1種証券外務員



申込用QRコード

令和8年9月18日(金)必着までに、QRコード又は参加申込書からお申込み下さい。

※会場の申込者が定員を超えた場合は、先着順と致します。

お申込み先

熊本県担い手育成総合支援協議会(事務局:熊本県農業会議) 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1(県庁内)

電話 096-384-3333 FAX 096-385-1468 メール 43ninaite@nca.or.jp

「第10回インフラメンテナンス大賞」の募集を開始**締め切り
間近！！**

農林水産省では、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省及び防衛省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を「インフラメンテナンス大賞」として表彰しています。

令和8年8月21日より「第10回インフラメンテナンス大賞」の募集が開始しておりますので、皆さま奮ってご応募ください。

趣 旨

インフラメンテナンス大賞は、日本国内の社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という）に係る優れた取組や技術開発を表彰するものです。表彰により、好事例として広く紹介することで、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、**メンテナンス産業の活性化を図る**とともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

表彰の概要

農林水産省、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省及び防衛省が所管する施設について、次の各部門における優れた取組や技術開発を行った方に対して有識者による審査を経て、内閣総理大臣賞、各省大臣賞、特別賞及び優秀賞を決定します。

ア：メンテナンス実施現場における工夫部門

イ：メンテナンスを支える活動部門

ウ：技術開発部門

<農業農村分野の対象施設>

農業水利施設（ダム、頭首工、水路、用排水機場、ため池等）、農道、農業集落排水施設、地すべり防止施設、海岸保全施設 等

募集の概要

応募期間：令和8年8月21日（金曜日）から令和8年10月8日（木曜日）12時00分まで

応募方法：▼WEBフォーム

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/entry/form.html>

今後の予定：令和8年度冬頃 受賞者発表・表彰式実施

過去に本賞へ応募した取組や技術開発についても、前回の応募時の内容と比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合（取組継続期間の延長も含む）は、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。

▼国土交通省HPにて、過去の受賞者の取組概要や第10回応募要領等をご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03_award.html

「水が伝える豊かな農村空間 疎水・ため池のある風景写真コンテスト」
 は今年で6回目の開催となります。
 皆様からの**応募**をお待ちしております。



【令和8年5月現在】

テーマ

疎水やため池は、食料生産や生態系保全などさまざまな役割を担いながら、日本の原風景ともいえる素晴らしい農村空間を創り出しています。その大切さを、四季折々の景色や生活の様子とともに写真で伝えてください。

募集部門・条件

- ◇**疎水部門** 用水路、頭首工、スプリンクラー、貯水池(農業用ダム)などの農業用水利施設が写っていること
- ◇**ため池部門** 農業用ため池(農業用水として使用されているもの)が写っていること

※農林水産省 農村振興局とは
 川から農業用水をとる堰や
 用水路、排水路、ため池など
 日本農業の土台を整備し、
 魅力ある農業・農村を次世代に
 つなぐ取組を進めています。

各賞

農林水産省
 ※農村振興局長賞

各1点
 賞状・商品券8万円

疎水・ため池の両部門について次の賞を予定しています。(賞の内容については予告なく変更になる場合があります。)

全国水土里ネット
 会長賞

各1点
 賞状・商品券5万円

土地改良PR賞
 土地改良区、
 土地改良区連合の
 職員・組合員対象

各1点
 賞状・商品券1万円

U-18賞
 2027年3月31日時点で
 18歳以下対象

各1点
 賞状・図書カード1万円

入選

各10点程度
 商品券2千円

審査・発表

- 審査委員長 写真家・編作峰子氏
- 2027年1月以降に審査委員会で審査し、全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)のホームページにて発表します。入賞者には別途通知します。
- 「土地改良PR賞」は、土地改良区または土地改良区連合に所属している組合員や役員による、**受益地内の施設**を撮影した作品を対象とします。

応募に関する
注意事項

- ・ 作品は2025年1月以降に撮影した未発表のもので、用水路やため池など農業用水利施設が写っている写真。農業に利用されていない施設は原則として審査の対象外となります。
- ・ 撮影場所の住所、疎水・ため池名は必ず記入してください。不明のときは、各都道府県の「農林部局」や「土地改良事業団体連合会(水土里ネット)」に照会していただく場合があります。

応募先
 お問合せ

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 4F TEL:03-3234-5480
 全国水土里ネット「写真コンテスト係」

主催

疎水ネットワーク、全国ため池等整備事業推進協議会、全国
 土地改良事業団体連合会

後援 農林水産省

本チラシは全国水土里ネット HP にも掲載しています。 <https://www.inakajin.or.jp>



詳しくはこちら▼

<https://www.inakajin.or.jp/works/pr/examination>

2027年3月19日(金)～9月26日(日)にGREEN×EXPO2027（2027年国際園芸博覧会）が神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）で開催されます。

日本での開催は1990年の大阪「花の万博」以来、**37年ぶり**となる本イベントは、世界各国が参加し、それぞれの園芸文化や食、農業、環境への取り組みを発信します。

下記のとおり開催されますので、お時間のある方はぜひ足をお運びください。

参加をご希望される熊本県内の土地改良区の方は
本会の総務企画課までお問い合わせください。。

地球と。 咲きに行こう。

The Blooming Field of Planetary Citizens.



公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク
©Expo 2027

前売りが断然、お得。
入場チケット販売開始
2026年3月19日(木)

前売りチケット	1日券	大人:4,900円	小人:1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人:5,500円	小人:1,500円

開催期間：2027年3月19日(金) — 9月26日(日)
開催地：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）



チケット購入はこちらから

公式販売Webサイト、または旅行代理店や各種プレイガイドから購入できます。

2027チケットQ



※価格は全て日本円・税込みです。
※紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。
※3歳以下の方は無料となります。
※前売りチケットの販売は2027年3月18日までとなります。

主 催：公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 <https://expo2027yokohama.or.jp/>

9
2026



INFORMATION

県からの情報発信



TOPIC

農地整備課

皆様のご支援・ご協力に「感謝！」



H28熊本地震から10年の節目を迎え、大切畑ダムの復旧工事も完了を迎えようとする最中、まさかの大地震に見舞われました。

発災以降、超炎天下のなか、被害調査や被災地支援等々、農水省(MAFF-SAT)、県、市町村、土地改良区、県土連など多くの関係者の皆様に御支援と御協力頂いております。この場を借りて深く感謝申し上げます。

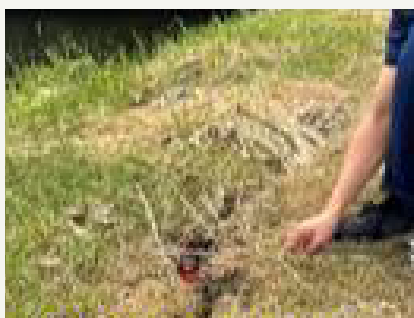
さて、被害状況(8/25確定)ですが、県央、県南地域を中心に21市町村で、農地**5,035件**の**61億円**、農業用施設**9,159件**の**677億円**、海岸保全施設**835件**の**222億円**に上り、H28熊本地震災害を超える被害となりました。おかげさまで被害調査が完了し、現在は、円滑な災害査定の実施に向け、**応急工事**や**大規模災害査定方針**の適用など、国との協議も大詰めとなっています。(9/11時点)

9/14から梅雨前線豪雨分の**災害査定**がスタートします。10月中旬からは地震災分の災害査定も本格化します。さらには、**補助率増高申請**、**補助金申請**と待ったなしの業務の連続です。

皆さん、疲れとストレスがピークのことと思いますが、適度に休暇を取りながら、健康第一でこの苦難を乗り越えましょう！引き続きのご協力を。m(__)m



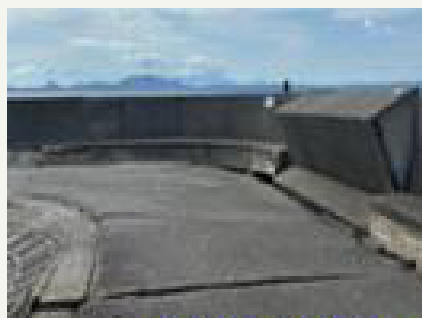
▲農地の亀裂



▲ため池堤体のクラック



▲排水路部クラック



▲海岸堤防の損壊



▲宇城地域振興局の被害



▲調査前ミーティング



熊本県農林水産部農村振興局の
YouTubeチャンネル「くまもとNNチャンネル」もぜひご覧ください！

リンク：<https://www.youtube.com/@kumamotoNN>

9
2026



INFORMATION
県からの情報発信



TOPIC

写真集



▲排水機場の液状化
(八代市・昭和第2排水機場)



▲農地の亀裂 (氷川町)



▲海岸堤防の損壊
(八代市・昭和海岸)



▲水路への応急ポンプ設置



▲ため池堤体のクラック
(宇城市・高倉)



▲幹線水路の損壊
(氷川町・氷川幹線水路)



SOME LINKS

県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。

■ 水土里ネット熊本平野南部

<https://kumamotoheiya.com/>

■ 水土里ネット熊本市西南ホームページ

<http://midorinet-km.jp/>

■ 水土里ネット美里ホームページ

<http://misato-midori.net/>

■ 水土里ネット玉名平野ホームページ

<http://www.tamana-heiya.jp/>

■ 水土里ネットおおきくホームページ

<http://ookiku.jp/>

■ 水土里ネット一の宮ホームページ

<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>

■ 水土里ネット阿蘇ホームページ

<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>

■ 水土里ネット八代平野北部ホームページ

<http://yatsushiro-heiya.jp/>

■ 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ

■ [水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区）](#) |

[Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook](#)

■ 水土里ネット幸野溝ホームページ

<http://www.kounomizo.jp/>





OTHERS



CONTACT

水土里ネット熊本

(熊本県土地改良事業団体連合会)

総務企画課 企画広報係
みどり通信担当者

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

HP : <https://www.higosanae.or.jp>

CONTACT

「みどり通信」で紹介してほしいイベントや
ホームページ、ブログなどがあれば、ぜひ本会
まで気軽にご連絡ください。
配信先のメールアドレス変更等は、左記まで
宜しくお願いします。



HPの2次元コードはこちら

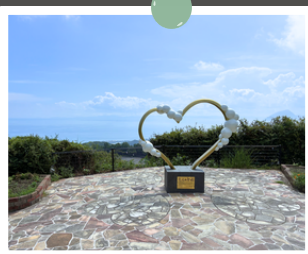
SNAP SHOT ✨



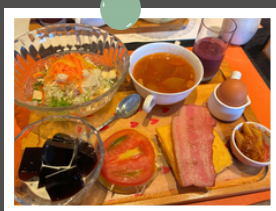
▲南小国町にある
おいしいアップルパイ♡。



▲内牧温泉も満喫しました～



▲別府湾サービスエリア
で別府湾を一望



▲ホテルの朝食が絶品でした♡。

編集後記 ✨

まだまだ日差しの暑い日が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。災害の爪痕が残る中での日々ですが、少しずつ前進してきているのかなと感じております。

しかし疲れは蓄積していくばかりです。そんなどんよりとした気持ちを一扫すべく、大分の別府旅行を満喫してきました！様々なストレスをリフレッシュするために、温泉で癒されようという作戦です。

別府に入った瞬間から香る硫黄の匂い！さすが温泉街。町中から湯気がもわもわ～と立ち昇る光景で大はしゃぎを披露しました。観光客の鑑ですね。

帰りには内牧温泉にも入り、ピッカピカに。おかげで一週間ほど肌艶のコンディションは完璧で、温泉が身近な地域を羨ましく思います……

初秋の風も薫るようになってきましたが、暑さに油断せずお過ごしくださいませ。

(みどり通信担当者)

